

ばらんす

第55号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係
〒324-8641 大田原市本町丁目4番1号
☎ 0287-23-8715
FAX 0287-23-8748
mail seisakusuishin@city.ohtawara.tochigi.jp

G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されました

6月24日(土)・25日(日)に日光市においてG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されました。G7サミット(主要国首脳会議)に合わせて開催された関係閣僚会合の一つであり、「コロナ禍での教訓を生かす」「女性の経済的自立」をテーマに様々な課題について話し合われました。また、会合の成果として、「G7ジェンダー平等大臣共同声明(日光声明)」が発表されました。

○日光声明の要約

- 男女間の賃金格差を是正するため、柔軟な働き方の促進や公平で透明な給与制度の必要性を明記
 - デジタルや気候などの成長分野への女性参入の重要性を明記
 - あらゆる形態の性別に基づく暴力をなくすための対策を講じる必要性を明記
 - 社会の意識を変え、性別に基づく役割・固定観念・偏見をなくすことの重要性を明記
- (日光声明の全文は内閣府男女共同参画局のHPをご覧ください。)



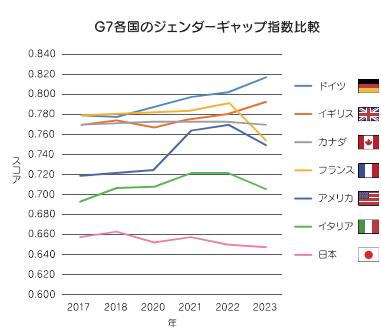
○日光声明で取り上げられた主な課題

- 女性の経済的自立
- 性別に基づく暴力
- 無償のケア・家事労働
- 社会の意識を変える

○G7各国のジェンダーギャップ

ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる格差のことと言います。

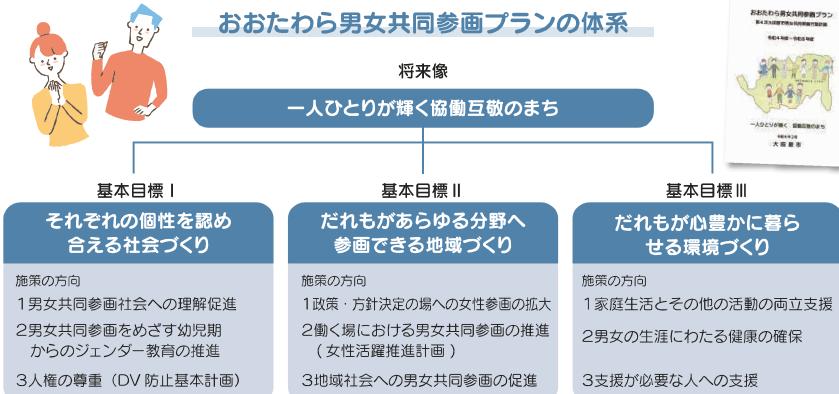
政治や経済活動への参画度、教育水準、健康寿命などから算出される男女格差を示す指標がジェンダーギャップ指数です。男性に対する女性の割合を示しており、0が不平等、1が平等です。2023年6月に世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数の報告書によると、日本は総合 0.647で146か国中125位、G7各国の中でも最も低い結果でした。



世界経済フォーラム「グローバルジェンダーギャップ報告書」より

大田原市の男女共同参画の取り組み

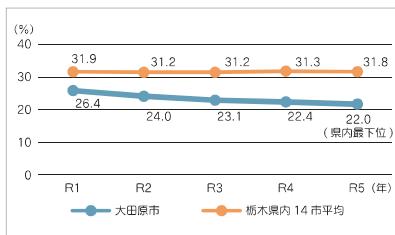
市では、平成16年に「男女が互いの個性を尊重し、共に支え合い、責任を分かち合い、幸せを感じられる住みよい大田原市」を築くことを目的に「大田原市男女共同参画を推進する条例」を制定しました。その理念を踏まえ、「おおたわら男女共同参画プラン（大田原市男女共同参画行動計画）」を策定し、現在は令和4年度から令和8年度までを計画期間とする第4次計画のもと、さまざまな施策・事業を展開しています。



※おおたわら男女共同参画プラン（全体版）は、
市HPに掲載しています。

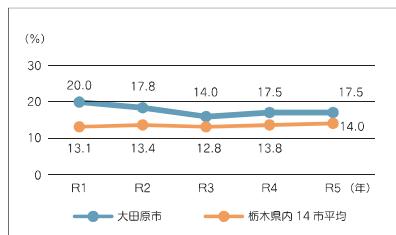
大田原市役所における男女共同参画の推進状況は？

●審議会等委員における女性の割合の推移



栃木県人権男女共同参画課公表資料より

●女性職員の管理的地位への登用状況の推移



栃木県人権男女共同参画課公表資料より

●職員の旧姓使用

令和3年8月31日から、結婚等で姓が変わった職員は職務遂行上又は事務処理上の誤解又は混乱を招くおそれのないものについて旧姓を使用することが認められています。

●仕事と家庭の両立のための環境整備

様々な制度により柔軟な働き方への取り組みが推進されています。

- ・育児休業
- ・育児短時間勤務
- ・早出遅出勤務
- ・介護休暇
- ・介護時間
- ・部分休業
- ・特別休暇（子の看護、介護、男性職員の配偶者出産時）



キャリアデザイン講座

自分らしく、主体的に生きて 自分の人生を作ろう

講師：有限会社フェードイン代表 工藤敬子さん

日時：令和5年6月7日（水）

対象：大田原女子高等学校1、2、3年生 630名



蒸し暑い初夏の午後、体育館に集まった600名余の高校生を前に、男女共同参画推進事業としてのキャリアデザイン講座が開かれました。講師は、今年6月に日光で行われたG7女性活躍担当大臣会合の開催100日前イベントでファシリテーターを務め、またとちぎ男女共同参画財団評議員もされている工藤敬子さん。豊富な経験に裏打ちされた、貴重なお話をいただきました。

◎コミュニケーションスキルを身につけよう

印象は自分で作るもの、そして人の印象は最初の5秒で決まる。この短期的印象は変化する。次の4分後からの永続的印象は変わらない。自分の目指す印象に向けて、心をつかむコミュニケーションとはどうしていくか。相手に合わせる話の聞き方等を話された。

またアンコンシャス・バイアスについても考察。男らしさ、女らしさ。いろんな選択が思い込みから刷り込まれ、問題がつながり、選択に影響していないか。人生の大切な選択を「自分で決める」ことをしてきたか。「自分らしく、主体的に生きる」ことは当たり前だったか、と問われました。

◎優しさの配慮に隠れたインポスター症候群

ディズニーの「アナと雪の女王」。あの作品は女性監督が参加したからこそ、生き生きと「Let It Go」と歌えたのではないかと教えてくれた工藤さん。

そして女性の力の発揮を妨げる内なる壁「インポスター症候群」を紹介しました。社会的に成功した女性に多く見られるとのこと。女性だからこうあるべき、という考えに自分で縛られて自己肯定できない。これも克服していかねばならない課題といえます。

私たちの社会は、いろんな人たちで成り立っている。この多様性を活かすダイバーシティ＆インクルージョンを認めて進んでいこう、と締めくくりました。

※インポスター症候群：仕事等で成功し、客観的な評価を得られているにもかかわらず、自分自身を過小評価してしまう心理傾向のこと
※ダイバーシティ＆インクルージョン：国籍や性別、障がいの有無にかかわらず、多様な人がお互いを認め合っている状態

生徒の感想

- ・コミュニケーションについて学ぶことができた。
- ・自分はコミュニケーションが苦手なので聞けてよかったです。
- ・今後に生かしたい。
- ・相談されたとき実践したい。



これから社会に飛びたつ高校生にとって、有意義な時間だったようです。（記 江馬）

DVのお悩み、ひとりで抱えていませんか?



DV相談ナビ【TEL #8008】

配偶者やパートナーからの暴力(DV)に悩んでいる方の、相談窓口です。最寄りの相談機関の窓口に電話が自動転送され、直接ご相談いただくことができます。※ご利用には通話料がかかります。※ご相談は、各機関の相談受付時間内に限ります。※一部のIP電話等からはつながりません。



【ホームページ <https://soudanplus.jp/>】

DV相談+(プラス)【TEL 0120-279-889】

配偶者やパートナーからの暴力(DV)について、専門の相談員と一緒に考えます。ひとりで悩まずご相談ください。24時間体制の電話相談に加え、SNS・メール(10の外國語に対応)でも相談できます。※ご利用には通話料はかかりません。

ばらんす掲示板

令和5年度大田原市男女共同参画推進事業者表彰

市では積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる事業者を募集し、表彰いたします。

表彰の対象となる取り組み

- 性別にとらわれない能力活用又は女性の職域拡大のための取り組み
- 仕事及び家庭生活その他活動との両立を支援するための取り組み
- 男女の人権に配慮し、男女が共に働きやすい職場の環境づくりのための取り組み
- その他男女が共に参画できる社会づくりに向けた取り組み

募集期間

令和5年11月1日(水)～30日(木)

※対象や応募方法等の詳細は、市HPに掲載しています。

※受賞事業者の取り組みをぜひご覧ください。



ご応募お待ちしております。



令和5年度
募集HP



令和4年度
受賞事業者



令和3年度
受賞事業者

お問い合わせ先：政策推進課市民協働係 ☎ 23-8715



編集後記



男女共同参画、耳にもし、自分でもわかつてはあったつもりでしたが、具体的にはびんときませんでした。この編集に参加し、なるほどとおもうことが多く、夫婦、家族でぜひ見て読んで欲しい。そして話し合ってほしい。家の中で一人だけわかつてはいたって駄目、みんなでわからなくては。そして家族、地域へと発信していく事が、大切な「ばらんす」の役目なのかなとあらためて感じました。

おや?と思うことを声に出して、みんなで一緒に考えて家庭、地域へと発信して誰もが、住みよい明るい街に。我が家は高齢者世帯、夫は、まだまだ。今の若い世代の家族は夫婦ともどもがんばっているなあと感じている。
(記 天沼)

編集委員 (五十音順)

天沼 明美 荒牧 孝道 岩元 利孝
江馬 久美 藤沼 久子

国際医療福祉大学
鈴木 由美 森越 美香 沼澤 広子

問い合わせ

政策推進課市民協働係
☎ 23-8715